

中小企業成長支援ファンド

「テクノロジーベンチャーズ5号投資事業有限責任組合」

に出資を行う組合契約を締結

独立行政法人中小企業基盤整備機構（略称：中小機構 所在地：東京都港区 理事長：豊永厚志）は、新事業開拓促進出資事業（ファンド出資事業）において、伊藤忠テクノロジーベンチャーズ株式会社を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合に対し、中小機構出資分として40億円を出資することで合意し、組合契約を締結しました。

『テクノロジーベンチャーズ5号投資事業有限責任組合』（以下「本組合」）は、「新産業を創出し、社会に進化をもたらす」をビジョンに、テクノロジーにより社会を変革し得るスタートアップに対して積極的に投資を行い、伊藤忠商事グループのネットワークを活用した営業支援、経営支援等のハンズオン支援を通じて、そのさらなる成長をサポートするファンドです。投資スタンスとしては、アーリーステージをメインに厳選した投資実行及びハンズオンでの支援を行うことを継続し、投資分野としては、特定のテーマ・バズワードを追うことなく、投資対象企業が社会に与える本質的な価値を見極め、企業活動・産業界を進化させる分野（エンタープライズIT、既存産業 x テクノロジー領域等）、個人の生活を豊かにする分野（コミュニケーション、メディア・コマース領域等）、先端テクノロジーにより社会を大きく変革する分野（ロボティクス、医療・バイオ等）への幅広い領域を対象とする方針です。

引き続き中小機構では、全国9カ所の地域本部等が有する支援ツール等を最大限に活用しながら、中小企業を支援して参ります。

<独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）>

中小機構は、日本の中小企業政策の総合的かつ中核的な実施機関として、全国の中小企業への支援をトータルで行う経済産業省所管の独立行政法人です。生産性向上や事業承継など様々な課題を抱える中小企業に対して、販路開拓、海外展開、人材育成、事業引継ぎ、その他経営面での助言、情報提供、並びに共済制度、ファンドを通じた資金提供など多様な支援を実施しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

ファンド事業部 ファンド事業課（担当者：山岸、豆谷）

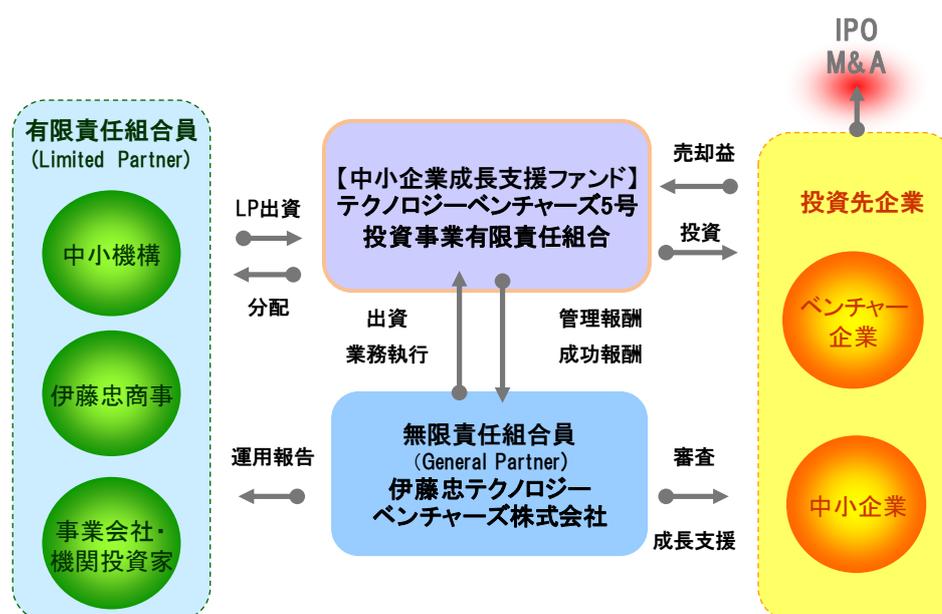
住所：東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37 森ビル

電話：03-5470-1673（ダイヤルイン）

◆「テクノロジーベンチャーズ5号投資事業有限責任組合」の概要

- 「テクノロジーベンチャーズ5号投資事業有限責任組合」は、伊藤忠テクノロジーベンチャーズ株式会社（所在地：東京都港区、代表取締役社長：中野慎三氏）を無限責任組合員として、2019年5月に設立された投資ファンドです。
- 伊藤忠テクノロジーベンチャーズ株式会社は、2000年の設立以来、IT分野を中心に国内外の成長著しいベンチャー企業に投資を行い、営業支援、経営支援を積極的に行っているハンズオン型ベンチャーキャピタルです。

<スキーム図>



<制度の内容及び実績について>

中小企業成長支援ファンドについて

https://www.smrj.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_02.pdf

中小機構ファンド事業出資実績

https://www.smrj.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_04.pdf